

## 需要3カ月ぶりプラスに 効いた平年並み気温 ～4月LPガス需給実績（5日集計）～

日本LPガス協会が31日にとりまとめた「LPガス需給統計」（5日集計）によると、4月のLPガス需要（元売出荷ベース）は前年同月比2.2%増の1,059千トンとなった。月間需要がプラスとなったのは1月以来3カ月ぶり。供給は、輸入が極めて低レベルだったことで同23.5%減の949千トンと100万トン割れ。この結果、4月末一次基地在庫は月間110千トン減の1,114千トン、前年同月末比（法定備蓄込み）75.7%の低水準にとどまった。

1. <生産> 4月の国内LPガス生産量は、石油精製分が前月比31千トン増、前年同月比14.3%増の176千トン、石油化学分が前月9トン減、前年同月比3.0%減の32千トンとなった。4月の原油処理量は前月比4.5%、前年同月比1.5%のそれぞれ減少の1,490万k lと石油製品需要の低迷を反映して低水準にとどまったが、製油所でのLPガス自家消費が減少した結果、精製分生産＝市場への出荷量は増加した。また、石油化学での生産はエチレン生産量が516千トンの前月比8.2%減、前年同月比6.7%増となったものの、ナフサ高を反映してLPガス原料用自家消費が増加したことで前年比出荷量（生産量＝市場出荷量）は減少した。
2. <輸入> 輸入は米国のヒューストンシップチャネルでの濃霧や石化タンク事故による積み遅れと中東産ガス国での在庫不足による積み遅れが重なったほか、3月までの暖冬による需要減や年度末在庫を低く抑えたい元売の意向もあり、スポット輸入が手控えられたことで記録的低水準となった。ただ、上記濃霧や事故の影響を最も被った3月輸入に比べると95千トンの増加となったが、前年同月比では29.7%減の741千トンにとどまった。なお、741千トン輸入のうち米国からの輸入が592千トンと80.0%を占めた。プロパンに限ると602千トン輸入のうち米国が509千トンで84.6%となっている。サウジからの輸入はなかった。UAEも20千トンだけだった。
3. <総需要と一般用需要> 4月のLPガストータル需要は、プロパンが前年同月比2.5%増の852千トン、ブタンが同1.0%増の207千トン、合計で2.2%増の1,059千トンとなった。プロパンのプラスもブタンのプラスも1月以来3カ月ぶりのこと。このうち一般用需要は、プロパンが2.5%増の852千トン、ブタンが8.3%減の188千トン、合計が0.4%増の1,040千トン。4月はそれまでの暖冬から平年並み気温に低下した。北日本は平年比0.2℃高だったが、東日本が同0.5℃低、西日本が平年と同じ。温暖化の昨今、平年並みは寒い。プロパンは家庭業務用及び都市ガス増熱用需要が増加した。ただ、ブタンは一般用では引き続き低調だ。
4. <輸入船直納需要> 鉄鋼用は引き続き受入れゼロ。電力用受入れもなかった。化学原料用は九州でのブタン受入れが続いているが4月は19千トン。昨年4月直納分受入れがゼロだったため、この化学原料用輸入の結果、ブタンのトータル需要は前記のようにプラスとなった。
5. <在庫> 以上のような需給の結果、4月末の一次基地在庫は3月末比110千トン減の1,114千トンとなった。昨年4月末比75.7%。うちランニング在庫は84千トン3月末比28千トン減、前年同月末比23.5%。これほどの低水準となったのは、輸入基地ランニング在

庫がマイナス 28 千トンのマイナスカウントとなったため。輸入基地タンクには在庫はないが日本領海内の輸入船舶内の数量も在庫にカウントされるため、在庫数量が法定量以下になったということではない。法定備蓄量は 1,030 千トンで前年同月末比 92.4%。2 月から民間備蓄日数が 50 日分から 40 日分に軽減された効果が出てきた。

4 月の L P ガス需給実績は次のとおり（単位・千トン、カッコ内は前年比%）。

|                   | プロパン            | ブタン             | 合計                |
|-------------------|-----------------|-----------------|-------------------|
| 月初在庫              | 773<br>( 102.8) | 451<br>( 87.6)  | 1,224<br>( 96.6)  |
| ランニング分            | 55<br>( 75.3)   | 57<br>( 74.0)   | 112<br>( 74.7)    |
| 法定備蓄              | 718             | 394             | 1,112             |
| <b>&lt;供給&gt;</b> |                 |                 |                   |
| 石油精製分生産           | 102<br>( 110.9) | 74<br>( 119.4)  | 176<br>( 114.3)   |
| 石油化学分生産           | 17<br>( 89.5)   | 15<br>( 107.1)  | 32<br>( 97.0)     |
| 輸入                | 602<br>( 64.2)  | 139<br>( 118.8) | 741<br>( 70.3)    |
| 供給計               | 721<br>( 68.8)  | 228<br>( 118.1) | 949<br>( 76.5)    |
| <b>&lt;出荷&gt;</b> |                 |                 |                   |
| 一般用               | 852<br>( 102.5) | 188<br>( 91.7)  | 1,040<br>( 100.4) |
| 鉄鋼用               | 0<br>( --)      | 0<br>( --)      | 0<br>( --)        |
| 化学原料用             | 0<br>( --)      | 19<br>( --)     | 19<br>( --)       |
| 電力用               | 0<br>( --)      | 0<br>( --)      | 0<br>( --)        |
| 輸入船直納計            | 0<br>( --)      | 19<br>( --)     | 19<br>( --)       |
| 出荷計               | 852<br>( 102.5) | 207<br>( 101.0) | 1,059<br>( 102.2) |
| <b>&lt;在庫&gt;</b> |                 |                 |                   |
| 月末在庫              | 642<br>( 66.3)  | 472<br>( 93.8)  | 1,114<br>( 75.7)  |
| ランニング分            | 31<br>( 14.1)   | 53<br>( 38.7)   | 84<br>( 23.5)     |
| 法定備蓄              | 611             | 419             | 1,030             |

(注) 在庫は一次基地在庫